

—O z a w a & O b a m a の日米WOは政治的暗殺の最中!!— '09/5/11, 13, 14  
《暴走気候変動問題と豚インフルエンザの背景にある人類最終問題?!》

**80%CO2削減**でないと地球温度低下ならず、現状趨勢増大が継続すると近将来に北極海低  
浅瀬の温度不安定メタン大量氷塊が融解暴走し、地球破滅と筆者も過去に警告してきた。  
然るにこの問題に関して米軍 CIA 極右派は CO2 削減でなく、**人類大規模削減**を謀略中か、  
核戦争でなく、**人工細菌兵器**である。1918 年スペイン風邪では 4000 万人もが死亡、現状の  
ぬるま湯経済から脱却できない自覚欠如地球人にはとんでもない可能性が、.....  
日米国民は共通してまず**WOの政治暗殺**を防がねばならない。更に両者は共通して.....

[1]: エイズと豚インフルエンザは共に米陸軍研究所開発の人工細菌兵器:

人工細菌兵器問題に関しては以下サイトが詳しい。然るになぜこの時期にフル?  
豚インフルエンザの本当の意味:

<http://alternativereport1.seesaa.net/article/118696389.html>

豚インフルエンザの源流?: <人間感染化の突然変異は自然には殆ど起こらない>

<http://alternativereport1.seesaa.net/article/119002528.html>

5/9 日、筆者は某サイトで細菌戦争が近々に世界化するのではの警告文を目にした。となれば(其の下手人はナチス伝統を引き継ぐあのブッシュ系 CIA 軍産複合体右翼であり)、それは**白人優生主義思想**にあるとするのが、上記サイトの指摘である(部分は筆者)。

[2]: 北極圏浅瀬大陸棚に大量埋蔵メタン氷塊の融解は**地球温度上昇暴走**で地獄招来:

この問題は当サイト(主に英文サイト)で重点的に力説し、警告しつづけてきた。

其の趣旨は北極海周辺は圧倒的な浅瀬大陸棚構造(海深数 100m)(グーグルアース)で、そこには周辺河川からの有機物超長期集積の結果、500~1400GtC 規模の**大量メタンクラスレート(氷塊)**が埋蔵、然るにそれらは**2-3 度 C** 温度上昇で融解、海面から問題海底までの海面温度到達時間は**10 年**を要しないだろう。全球温度 1 度上昇に対して、北極圏は**3 倍以上**、然るに安全帽子である海面氷層が融解急速進行、昨年は北極点海面氷層が史上初の融解。メタン融解は CO2 の**20 倍以上**の温暖化促進要因、温度上昇-融解-温度上昇の**悪魔循環**は急速な**地球熱化地獄**を招来、**過去に“大規模な種絶滅”のメタン破滅の歴史が 2 度ある**。

☞: **10GcC** の一気融解は全球 1 度前後の温度上昇、これだけで致命的。だから北極海面の氷層融解はいつ地雷を踏む様な綱渡り。だが世界は決して忠告の方向にはない。確かに理解には相当の物理知識が必要だし、世界の専門家筋も其の正確な**埋蔵分布**に関しては未知と公言、筆者自身も正確な定量解析はできていない<規模と時間予測問題>。だが関係科学者複数は**「破滅はいつあってもおかしくない」**とも公言してる。それよりも誰もが目先の**世界経済不況**で明日の**生活不安**にかられて、そんな SF 的な話しどころでないと言う”**政治経済優先状況**”がある。これこそが今回問題核心になる部分でしょう。

[3]:80%CO2削減でなく、人類大規模削減を目論む米CIA軍部：

人は問題解決に当たって己の持つ道具にこだわる。よく言うのがトンカチを持つならば、解決はそれで叩くという次第、企業家ならば己企業成長が解決、サラリマンは雇用安泰、生活者は食糧エネルギー確保と言うだろう。然るに軍部だと回答は**戦争**だ。そこで想定されるのが戦時中日本 731 部隊が中国での人体実験に始まる細菌兵器(悪魔の飽食)、戦後米国では徹底研究がなされた模様で其の典型脅威こそがあのエイズ、今アフリカでは気候変動田畑壊滅と並行してそれが民族滅亡危機を促進してるが先進諸国世界は無視、然るに昨年の北極点海面氷層が史上初の融解は関係者のみならず、多少の気候変動問題に関心ある世界市民に大衝撃。当然ながらこれは米国右翼も深刻に考えた。然るに現状世界は一向にCO2削減話は上っても現実は大増傾向、この推移だと破滅は何十年先の話にはならない。実は昨年にも指摘した**レーマン破綻世界恐慌開始**と同時に米国は**気候急変動解析計画**(IMPACT)を国家発動、彼ら上層部も気候変動問題核心を認識していなかった節がある。問題メキシコでの swine flu だが、専門家筋はこの米国隣接国での奇病発生を自然発生とは見ていない人間感染化突然変異は自然には極微小確率でしか起こらない。これはもっぱら前ブレで、今冬に本格的な発生があるとの予測も語られてる。然るにオバマ大統領のメキシコ訪問に関わった人物がこの病で急死、其の後日、ニューヨークマンハッタン高層ビル上空を大統領専用予備機が追尾のジェット機並行で飛行、またもビル突っ込みかと大騒動、これはオバマ大統領へのテロ暗示のデモ飛行。昨日のネット情報では記者会見でのオバマジョークとして、メキシコ帰りのヒラリーがオバマを抱いて、あなたもメキシコにどうぞと誘ったとか、チェイニーの友人銃撃事故に絡んでのきつい冗談も合ったとか、

[4]：9/11 大規模自作自演テロ中東侵略犯罪が実質野放し、次に彼らは世界大テロを企む。

「平和だと、不安でいたたまれない！」

日高芳樹, アメリカ国粹主義？

スマートナチス国家アメリカの核心部分が**CIA軍産複合体右翼**、巨大米国家予算3兆\$ 中のおよそ4000億\$ **軍事予算**は日本の国家予算半分にも匹敵、米国軍需産業収益総額=2000億\$ (2007)、因みに2001年医薬品市場=2280億\$ ドル、医薬もドでかい。要は米国は**軍国主義国家**。他方米人13%が公務員。米は大企業支配国の一方、実は**公務員支配国**でもある。いずれも見えざるファシズム、然るに**【経済と環境】生存W恐慌**の現実は何がトンカチか？。彼等はCO2削減緊縮経済は許容しない、生存危機と及べば戦時、エンジン全開が冒頭枠組み。其の口実にもなるのが世界気候変動対処での国際協定が一向に現実的削減に動作してない事実。**80%CO2削減が見込みがないとすれば、人類大規模削減は米CIA軍部に相応の大儀銘文が付く事になってしまう**。空気感染細菌を空中散布(air force1 NY-demo)されたらたまらないだろう。全外来航空機は徹底検疫せねばなるまい。それを回避する 唯一手段は日米民主党政権での operation the global RAMADAN = **20%化石エネ40年耐乏生活政策** <<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/OPERATION-GLOBAL-RAMADAN.pdf>>。

苦しくとも共に生きるか、殺し合いの末に少数者が生き残るのかの最後の審判、

## [5] : O z a w a & O b a m a の日米WOは政治的暗殺の最中!

### ①両名共通の使命は保守右翼腐敗政治打破と民主化変革、然るに暗殺危機問題が!!

#### (1)民主化オバマを狙ったインフルエンザテロ(?!)。

誰もがそうだろうが、筆者希望と喜びはこの世に強力な才能を見出す事である。そして彼らを支援し守るのが義務だ。然るに昨年米大統領選挙で黒人候補オバマ登場、当時日本のマスコミは冷ややかな物で、民主はヒラリー-と思う筋が専門家でも殆どだった。政策的特注は最後にまとめるが、100日明けて見れば演説、外交、経済対応と過去にない名大統領の兆候でないか、然るにこのまま放置すると米は**民主国家**になってしまう事を恐れる既成右翼勢力がある。ケチ小右翼一派でなく、ケネディを過去に暗殺のナチスブッシュ伝統のCIA軍産複合体だ。近日一部web報道によれば、メキシコで細菌感染可能性(以上?)があったらしい。後日記者主催の冗句パーティでは暗殺を暗示する2台のきつい冗談で会場は凍りつく一場面もあったと言う。詳細情報は入手できてないが翌日のNYエア1機飛行は9/11テロ暗示。大統領が怒るのは当然だろう。今後も可能性は一層増大するとみるべきだ。それは彼が良き大統領である何よりもの証明。米国人は絶対これを阻止せねばならない。

#### (2)麻生検察-マスコミ謀略による国民**“誤介錯人”**による小沢**“政治暗殺”**：

筆者若年時代の飲み友人が言うに「人は命を狙われるようになれば本物」。然るに9/11でないが5/11に小沢**代表地位**暗殺が発生、そもそも大久保第一秘書逮捕は冤罪強行の麻生-樋渡検察のマスコミを通じての**政治暗殺第一撃**、その後の小沢収賄罪性を垂れ流す連日大規模なマスコミ報道で無知国民過半数は小沢代表やめるべしを**世論調査回答**、この民主党選挙不利状況は二ヶ月に及んで膠着状態、だが党議員内外では目に見えずにじわじわ小沢落としが進行<**証拠は前回福田事件とは異なり、辞意撤回の声が党内部で起こらなかった事**>。其の結果が5/11記者会見回答こそが「**民主党団結勝利で政権交代**の為一途に代表地位を自ら降りる」と言う擬似政治暗殺の**第二撃**<ニセメール謀略の永田議員は後日自殺=擬似暗殺>。然るに「西松献金問題で代表地位降板と言う責任だけですませず、議員辞職までしたらどうか」の日本TV記者質問には怒って「規制法に従い適正に処理を確信、やましい事はない!!」と声を荒げた。まだこれで小沢は死んではないが、彼も民主党も大久保秘書が拘留中では手負い状態は変わらない。当初目的の小沢代表**(次期総理)地位は排除**できたので、御用マスコミは当初目的を一応達成。だがへっこみがどうにもつかないのが冤罪強行逮捕の麻生-検察樋渡、判決は当然衆院選挙後に持ち越される。兎も角ブツツン小沢代表は国民総出で支援しないと完全政治暗殺されてしまう。其の時、下手人は国民自身である。

☞ : 5/12民主党へは小沢支持者からヤンヤの電話殺到という話が漏れてる。確かに民主党小沢真相を一度知れば、ヤンヤにならざる得ない。

### (3) 今後の想定される経過：

- (a) **民主党が選挙勝利で政権交代**、この時点では西松判決は未定状態だが無罪方向になる。利害関係はどうあれ、小沢無罪は党員は皆承知なのだから、そこで有罪はないだろう。  
「無罪となれば3/3秘書逮捕と小沢代表辞任は何だったかと言う矛盾発生」、いずれにしても勝利には国民見解の大ギアチェンジが入らねばなるまい。それをどうする!!!。
- (b) **自民党が選挙勝利で政権継続**、いずれは政府意向を受けた有罪判決にならないと自滅。このときは完全な小沢政治暗殺が完成。でないと上記矛盾発生。
- (c) 選挙決着ならずで後に民主党-自民党、その他野党が分裂-融合の経過で**混合政権**を辿る。この解析は政局情報皆無の筆者には難しい(誰か教えて下さい)。

### (4) **代表辞任でも既成体制の民主攻撃と小沢暗殺は終わらない。**

それは明白である。(3)(a)の小沢院政生存での民主勝利は既成体制許容にないからだ。敵の恐怖本質は“新しい生活の仕組み=革新政策”と其の施工辣腕技術、確かに**個人崇拜**は望ましい事でない。だが不幸にも発明は特定者集中と同様が政治にもある事が今回判った。だから執拗に西松絡み等(もしくは次代表スキャンダル発生あらば)マスコミ攻撃は終わらない。  
☞：われ等が指導する×人から天才が傑出せぬように、邪魔せねばならない。  
個人の独創的発意は天才的ならば世界を変えてしまうからだ。<××人賢哲の議定書>

- (5) プーチン首相は右翼、日米右翼と結託だから麻生を持ち上げる。昨日口首相来日、日露エネルギーに関する目玉協定を結ぶらしい、更に北方領土問題でもお土産可能性が。

### ② 攻める者は勝ち、守る者は負ける<孫子>：

確かに既存右翼勢力は強いが、其の数において民主化を切望する国民は圧倒する!!!!  
後者を味方にして、民主党は既存腐敗勢力打破を**正面攻撃**する意外に生存余地はない!

### (1) **オバマ政策が右翼極悪犯罪を許容してる限りでは、最終勝利は無い。**

オバマ育成環境と選挙中の訴え等を総合勘案すれば彼はリベラル民主派は間違いない。同様の多面参謀を集め、若いから勢力的に仕事もこなせる。だが政権発足当初足元固めと緊急政策施工の為に右翼勢力との正面衝突を避けてるが、いずれは通れない大問題がある。それはブシュの大規模犯罪負遺産。この勝利は米国のみならず、世界命運も賭かる。一度犯罪が無罪放免されると、更に将来にはより大きい犯罪を生む地盤を形成する。これは論理学の矛盾崩壊定理、米国と日本が一番ひどい **CIA 米軍無法蹂躪国家**である。クシニッチ議員が議会告発した問題(**ブッシュ米大統領弾劾告発書**)にまともな結果を出さねばならない。それと冒頭部分から取り上げた**暴走気候破滅問題**は時間がない、北極圏浅瀬大陸棚に**大量埋蔵メタン氷塊**の融解は**地球温度上昇暴走**で地獄招来の問題と**80%CO2削減**でないと地球温度低下がない**最終問題**を正直に**国民と全世界**に告白すべきである。米国は温暖化ガスでは筆頭責任国です。

## (2)麻生-樋渡検察大謀略との馬鹿正直正面闘争 を国民面前で展開せよ。

小沢が選挙勝利政権交代(a)の為一途に党団結を執拗に要請したのは逆に、現状の党内には**団結闘争**の意思がなかった事を意味する。これでは若手新政権の行く末の政策施工は知れたものになろう。上記[1]~[4]章で提示した如く、今後世界は{**大荒れか大統一化**}の二つ一つの**人類最後の審判**になる。この大規模さを考えたら今の日本政局などはコップ内の嵐。代表交代でも民主党は今の姿勢では勝てない。マスコミは小沢降板でよしよしのあたかも民主党をなだめる方向に当面は示唆するだろう。それは戦う力を虚勢し、**選挙に至っては何らかの民主党逆風報道**が徹底して流される予定である。民主党は過去何回も謀略で力を削がれた苦い経験を思い出せ!! 即ち謀略闘争こそ本命!!! 敵は{民主党員全員と国民多数派}の**思想素行**を全部勘案の上に**謀略の脚本合成-解析計算**してるのです。敵は間違いなく謀略立案施工の専門家集団筋です!!! もし筆者予測が外れるならば新代表は既成体制と閣妥協が成立、自民と継続類似政策になるだろう。其の時、小沢代表の完全政治暗殺も実施されるだろう。

## [6]:今や、世界は誰も皆が命がけの時代突入だ!!!.

### (1)今回大不況は“誰が政権でも”、行くも帰るも、其の先は地獄模様:

不況深化で失職となれば、住宅ローンや子供養育費で即座に生活困窮が待つ。しかも再就職は至難の技、筆者は昔景気の良い時代だったが政治抑圧で就職困窮、これは生存否定だから怒りが込み上がったものだ。この状況は日本だけでない、米国、アジアもすごい失業率増、米では公園にテントが並ぶ。当然ながら巨額債務が一方的増大の米債権下落も予測され、それは多方面に悪影響。マスコミは当面の取り繕いとして、不況報道を控えて、稀な50兆円財政投資の中国話題を拾うが、もう米国過去復帰がない現状では一時延命政策になる。

麻生、オバマ、湖錦涛、プーチン、....いずれ指導者も自国経済凋落-国民生活困窮は即座の**政権危機**は不可避、だから何とか一時にしても必死に回復策に見境なくもがいている。  
<この現状は今の彼らの才能努力有無?の責任ではない<過去為政者責任>。現状は誰が政権でもいずれは凋落、過去の米国がもう従来の超繁栄に復帰しないから、彼ら指導者が**一番困るのはこの長年、甘い生活慣れした国民が現実経済真相に理解にない事**だろう。

正解はこう言う事である。**過去の超繁栄こそが実は大間違いだった**<過剰化粧直し経済>。  
仮に再度それが復帰すると今度は**地球気候暴走破滅危機**が一層、確率増大に進行する。

### (2)今までの甘い生活を当然と思いつく国民には了解されない窮乏政策が長期人類を救済。

ローマ報告(1970)=**成長への制限**(限界は誤訳)では現代世界の破滅を予言、もう40年前だが、正解である。**気候急変動問題**も今回世界不況も学校教育やマスコミ解説の範疇外にあって、**真相が多少とも国民全般に理解されてない事こそが危急危機**なのだ。西欧現代文明は巨大詐欺と言うのが筆者結論だが与太者扱い。**指導者はこぞって真相を告白すべきだ。**

[7]:今や、政治指導者は真実を国民に語る以外に大局救済はない事を語れ。

100%完璧な証明があるならば兎も角、「可能性がある」という不確定要素を含む話だけで、従来の繁栄を放棄せよなどと言われて誰もが簡単に引込まないのは道理だろう。

だが**北極海破滅問題**は現状経済規模に伴うCO2増大と地球温度上昇の趨勢が持続する限り「いつ、どの程度とは答えられねど」間違いなく破滅到来不可避と科学者複数は思ってる。地球科学現状ではまだ其の程度か？。それにしても一部ネット情報を例外に、一般大衆が触れる世界の既成マスコミはこの問題言及を避けてる節がある。筆者が知る限りでは警告に熱心なのは英国 Independent 紙程度だけ。日本大手マスコミでは皆無、

- (1)経済が悪あがきすれば寿命が縮むだけだろう。もう化粧直し経済ならば止めた方がよい。人の暮らし向き程度とは相対的で、森林原野の時代は皆が臭い土人が**標準生活**だった。片方で高層ビルの華麗現代生活、其の下町隅でスラム生活と言う格差が実は**倫理問題**。
- (2)北極海破滅兆候がはっきり目に見えた時点ではもう救済はないだろう。炭素会計ではまだ20%化石燃料消費余力がある内が引き返し可能、然るにもう安定性復帰可能点は通過してしまったの悲観論は誤りに注意。この手の悲観派は逆の気候変動回避対策反対派と同じ。
- (3)問題は現状から耐乏世界体制への移行問題、これは筆者個人で論じれる規模の話にないが参考は以下サイト。承知如くラマダンとはイスラム断食儀式を意味。  
<<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/OPERATION-GLOBAL-RAMADAN.pdf>>。  
然るに今回メキシコのインフルエンザが豚インフルとは奇妙な整合、豚はイスラムでは忌避食物だからだ。
- (4)CIA 軍部上層は気候急変動＝北極海破滅を当然承知しており、彼らがこのまま放置とは到底思えない。CIAも今後世界最大問題は気候変動と認識にある。もし彼らが二酸化炭素削減世界協定で必要時間内に濃度削減が実行に移行しない、即ち破滅回避不可能を読んだらば何とするか？、それを口実に世界人口大規模抹殺の大儀銘文にするだろう。そもナチスは工場での大量抹殺実施者であり、CIAは其のナチス末裔が引き継いでるのだ。
- (5)**人類最後の審判**は、40年の**世界耐乏生活体制**を選択するか、**大規模細菌戦争**での悲惨な殺し合いを見るのかの二者択一の選択と思われる。
- (6)メキシコインフルエンザとそれに関連するネット情報で、筆者が上記内容文書を書くのはCIAの思惑操縦と筆者が見られても否定はしない。豊かにする話ならば歓迎されるのは明らかだが、耐乏生活を推奨して歓迎されるとも思っていない。これしか**最善回答**がない事は読者も独自調査すれば同じ結論に到達するだろう。と言う場合はこれは筆者意見でなく**論理結論**となる。論理結論だけは拒絶や否定はしない方がよい。